



NPO法人ふくてっく 第23回総会議事録

定款第三条（目的）

この法人は、高齢者・障がい者等、支援を必要とするあらゆる市民の自立又はその介助を支援するため、福祉・医療サービス及び住環境整備に関わる直接的・間接的事業の遂行を通じて、専門職を含む市民による自発的な社会参加を促進し、心身のバリアフリーを実現して、社会の利益の増進に寄与する事を目的とする。

出席報告 中北事務局長は、現在正会員数31名 出席27名（委任状出席6名含む）であるので
総会が成立していることを報告した。

総会議長に、小川会員を推挙したいが、と諮ったところ、出席会員の全員が賛同した。

小川会員は議長席につき、13時25分に総会の開会を宣言した。

議長は続けて、議事の書記を中北事務局長に命じるとともに

議事録署名人として、小原会員と小堀会員を示したうえで審議に入った。

Ⅰ号議案 令和四年度活動報告

理事長総括

（小川理事長）

年度を振り返った時に、ここ数年は「できなかったこと、むずかしかったこと…」ばかりで、コロナ禍を乗り切った先を想像するのも難しい状態でしたが、やっと少し前向きな総括ができる様になりました。長かったコロナ禍の制約も令和5年5月からは緩和され、ふくてっくの活動もようやく平常モードに近づきつつあります。

「つどい」は新たな幼稚園との交流が縁で、次年度は園児と触れ合う機会が増加する見込みです。

「りのべる部会」はこれまでの行政協働の活動から、住宅改修や交流タイアップなど市民と触れ合う機会を創出することができています。

「こむねっと部会」はこれまでの社会的養護関係施設中心から保育所へ（第三者評価）の受審割合が多くなる見込みで、更なる経験と学習が求められそうです。

巷では何かと「●●4年ぶりの開催！」が目立っています。この辛かった3年間を真面目に取り組んできたからこそその実施であり、そういう人たち、関わる皆さんへの「ご褒美」として開催できる喜びを受け取る時がきました。

次年度は、ふくてっくへの「ご褒美」、皆さんにとっての「ご褒美」を、みんなで両手を広げて受け取り、元気で楽しい活動に励んでいきましょう。

事務局報告

(中北事務局長)

◆定例会その他記録

開催日	学習会テーマ	学習会講師	その他
R4/7/2	『手話』って難しいよね ～皆さん、普段使ってますよ～	小川忠雄会員	
R4/8/6	第21回定期総会開催 消費税のインボイス制度について	秋岡安会員	・8/6午前中にR3年度第2回理事会を開催しました。
R4/9/3	日本財団 未来の福祉施設建築応募作品紹介	中北清会員	
R4/10/1	児童養護施設の生活と卒園児の自立支援 ～誰もが夢を追える社会づくり～	田中れいか氏 外部参加4名	
R4/11/5	SDGsを通して考える私たちの暮らしと世界とのつながり	上村有里氏 NPOとよなかESDネットワーク	・11/1（つどい）羽曳野市立高鷲南幼稚園で木工遊びを行いました。
R4/12/3	つかめる前髪がなくても、チャンスの神様の前髪をつかんだ方法	大竹秀敏氏 コメドュケーター・たけびー	・12/11（りのべる部会）住まい情報センタータイアップ事業「防災かるたを使ったワークショップ」を開催しました。
R5/1/7	抱負を語る会（学習会はなし）		・1/11（つどい）生駒市立壱分幼稚園において市立幼稚園の先生方を対象に木工研修を行いました。
R5/2/4	H邸の改修報告	りのべる部会 山本会員・曽我部会員	・2/4午前中に令和4年度第1回理事会を開催しました。
R5/3/4	ふくてつくと各部活動の振り返り ～ホームページを見ながら～	苅田保志会員	
R5/4/1	交通サポートマネージャー研修とその実践～障がい者の日常生活と移動～	吉田雅俊氏 鈴木千春氏 仲村香子氏	
R5/5/6	安心して暮らせる環境づくり ～モノとの関わり方～	清水麗子会員	
R5/6/3	住宅改修ワンポイントアドバイス	りのべる部会	

ようやく外部講師を招聘しての学習会や、木工遊びが復活してきました。

◆総会記録

開催日時	場所	議事
第22回 定期総会 R4.8.6 13:35～14:55	大阪市立社会福祉センター 3階会議室 正会員総数31名 出席25名 (委任状出席含む)	・R3年度活動報告・同決算 承認 ・R4年度活動計画・同予算 承認 ・監査報告

◆理事会記録

開催内容・日時	場所	議事
理事会 R4.8.6 10:04～12:05	大阪市立社会福祉センター 3階会議室	・R3年度活動・同決算報告 ・R4年度活動・同予算計画
理事会 R5.2.4 11:15～12:10	阿倍野市民学習センター	・R4年度上半期の活動報告、下半期の活動展望 ・空家空きビル活用による福祉事業所開設支援の事業化について

1. ふくてっくのつどい (小川会員)

◆ 総括

「つどい」としての平常活動、①木工活動（工作、体験） ②会員交流（親睦、体験） ③会員学習（挑戦、体験）については、コロナ禍以前の様な活動にはもう少し時間が必要となります。これからは、少しづつ地域や施設（病院や幼稚園等）の状況を考慮しながら復活を目指し、新たな木工製作にも着手していく事を進めます。

ものづくり活動			
令和4年度事業報告 (R4/7/1～R5/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		
	場所		
1	園児 工具&木工体験	11/1	園児に木と触れ合う機会と工作を通じて工具体験することが目的の活動。 (会員9名参加)
	羽曳野市立高鷲南幼稚園		コロナ禍以前の活動に近い形で、ふくてっくの参加制限もなく活動することができました。今年は自由木工ではなく企画作品に取組みましたが幼稚園の協力も大きく、園児を年齢別に工具体験と木工製作で新たな試みが出来ました。反省点としては、園児は自由に楽しいことをしたい気持ちが強く、良かれと思う作品やサンプルは効果がなく、想定した作品作りにはならなかったので今後の製作提案に活かしたいと思います。
	上記幼稚園（羽曳野市）		
2	工具&木工製作研修	1/11	各幼稚園で「何がしたいか？」のアンケートで一番関心のあった木工について幼稚園の先生方を対象に木工の心得を伝授することが目的の活動。(会員10名参加)
	生駒市幼稚園教育研究会		園児に工作体験の機会を与えるための先生たちの体験として、工具体験と木工製作を講義も含め実施しました。実際木工制作を通じて先生方に伝える難しさを実感してもらいました。
	生駒市立壱分幼稚園		
3			

たいけん・ものしり活動			
令和4年度事業報告 (R4/7/1～R5/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		
	場所		
1	屋外バーベキュー&交流会	4/16	コロナの3年間でできなかった会員の交流を期待しての取組。(会員19名参加)
	ふくてっく		普段知る？見る？ことの出来ない会員の本音が分かる集会として開催しました。久しぶりに屋外でマスクのない顔を見ながら、大声出して笑って食べて飲んで、楽しい交流が出来ました。
	鶴見緑地公園		
2			

ふくてっくのつどい				
令和4年度事業報告 (R4/7/1～R5/6/30)				
事業・部会No.	事業名	収益	費用	差益
A-1	園児 工具&木工体験	20,000	18,000	2,000
A-2	工具&木工製作研修	20,000	26,754	△ 6,754
合 計		40,000	44,754	△ 4,754

2. りのべる部会（旧：東大阪部会）報告 令和4年度（R4/7/1～R5/6/30）（清水会員）

- ・令和4年4月1日より部会名の名称を「りのべる」renovation + palに改めました。新部会名が意味するように、過去の活動に捉われず、蓄積したスキルを活用した新たな取組を進めていきます。当会のメンバーに関わらず、住環境を良くしたいと考える当事者や支援者と一緒に、支援する側、支援される側のスタンスではなく、お互い主体的に関わっていけるような活動を推進していきます。
- ・りのべる部会（旧：東大阪部会）は、2006年度東大阪市からの委託事業として始まった改造費助成の適正検証事業は当初は高齢者・重度身体障がい者を対象としていましたが、2017年度対象者から高齢者が除かれ重度身体障がい者のみとなりました。東大阪市の委託事業スタート時から当会が対象者を3障がい（身体障がい・知的障がい・精神障がい）にとの訴えておりました。令和4年度改造費助成制度において、対象者の拡充が検討され当会にも意見を求められました。しかし、令和5年度も実現には至りませんでした。
- ・東大阪市の検証案件数が年間10件を満たない状況から、経費が嵩むため、検証活動費の見直しをおこない、人件費は前年度の約半額に減額し、R5年4月より検証等の輪番制を月担当制に変更しました。
- ・9/6寝屋川市より依頼がありハイブリッドによる介護保険住宅改修研修会の講師を担当しました。
- ・令和4年4月より「住宅改善サポート」をスタートしました。暮らしているお住まいに不自由・不便が生じている高齢者や障がいのある方を対象に、住まいに関するアドバイス等の活動を実施しました。
- ・大阪市住まいの情報センター/出前講座はコロナ禍において申込がなく実績なし。
- ・大阪市住まいの情報センター/タイアップ事業として12/11「ワークショップ：かるた遊びから学ぶ、家庭でできる防災防犯教育」を実施しました。
- ・経費削減のため、部会定例会をリアル会議は4か月に1回、その他をリモート会議（ZOOM）としました。

りのべる部会			令和4年度事業報告（R4/7/1～R5/6/30）
A：事業活動			（有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動）
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 期待する成果
1	東大阪市重度身体障害者 住宅改造費助成制度適正 検証事業 東大阪市 東大阪市内	令和4年 7月1日～ R5年 6月30日	目的：障がいの者の住環境のバリアフリー化を促進する。 障がいの者の住環境が改善され、継続して在宅生活を送る事ができる。 検証案件：R4/7～R5/6 8案件（R4/4～R5/3 7案件） 事前相談会：R4/7～R5/6 4件/4日（H4/4～R5/3 5件/5日）
2	寝屋川市介護保険住宅改 修支援事業 寝屋川市 寝屋川市立保健福祉セン ター 山本会員宅・清水会員宅	令和4年 9月6日	目的：健全な制度利用と、施工事業者・介護支援専門員の資質向上への支援。 施工事業者・介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、住環境の良質なバリアフリー化を促進する。 ■給付券方式施工登録事業所員研修会9/6①10:30～12:00 ②13:30～15:00 ・ハイブリッド研修（リモート&会場スクリーン） 講師：清水 アシスト：山本
3-1	大阪市住まいの情報セン ター・出前講座 市民 大阪市内	令和4年 7月1日～ R5年 6月30日	目的：高齢者やその家族が自立した生活を継続するために必要な住環境改善について知識を有し、主体的に取り組む事を旨とする テーマ：「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」 コロナ禍での対面講座の依頼が無く、実施できていません。
3-2	大阪市住まいの情報セン ター/タイアップ事業 子どもと保護者 大阪市内	令和4年 12月11日	ワークショップ：かるた遊びから学ぶ、家庭でできる防災防犯教育 日時：12月11日（日）A：11:00～11:50 B：14:00～14:50 場所：3階ホール 担当者：清水・寺岡・春岡 定員：A：会場15組（就学前の子ども・保護者又は大人同伴） B：会場15組（小学校低学年・保護者又は大人同伴） 遊びながら学ぶ。親に向けて：親がそばに居ないときに何か危険な状況に置かれても、自分で自分の身を守る方法をきちんと教育できる。 子どもに向けて：災害時に適正な行動がとれるようになる、危険な状況を未然に防げるようになる。 毎日の生活を整えておくことが防災、防犯につながる。自分で自分の命を守れる知識を持ち、行動がとれる人を育てる。「生活防災」を知り、普段の生活にまさかの時の工夫を取り入れる。 ■A：5組/11人 B：7組/14人
4	住宅改善サポート 高齢者・障がいのある人 大阪府下	令和4年 7月1日～ 令和5年 6月30日	目的：高齢者や障がいのある人がその人らしく暮らせる住環境を整備する 内容：訪問相談、同行、アドバイス等 個別性に合わせた要望に対応し、その人らしく安心して暮らせるの住環境を提案する ■H邸 担当：山本・曾我部 アドバイスまで当会で実施、設計等は担当者個々と契約し、竣工を迎える。 ■Y邸 担当：寺岡・清水 協力：立溝 現地訪問し、アドバイスを2回実施し終了

りのべる部会（旧：東大阪部会）			令和4年度事業報告（R4/7/1～R5/6/30）
B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	参加者・人数		
	場所		期待する成果
I	定例会部会(月1回開催)	令和4年 7月～ 令和5年 6月	目的：りのべる活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討 出席者：7/16-5名・★8/20-8名・（9/17休会）・10/15-5名・★11/19-7名 ★12/17-7名・☆1/21-6名・★2/18-3名・★3/18-8名・★4/15-9名 ★5/20-8名・★6/17-6名
	検証メンバー	第3土曜 11回	チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する
	大阪市立社会福祉センター・ ☆生玉会館他・★リモート		

R4年度りのべる検証活動 作業担当報告

月	検証活動日	検証記録	改造助成 事前相談会		活動 予定	部会			ふくてつく 定例会	その他 活動予定 および備考
	アンダーライン は水曜 *：活動無し	集積 送信	第3 木曜	担当	作成 連絡	第3 土曜	議事 進行	記録	発表担当	
7	21.28	清水 鎌田	7/21	清水	山本	7/16	清水	小川	曾我部 「東大阪むかし、むかしより」	
8	18.25	山本	8/18	山本	山本	8/20	山本	後藤	発表なし	部会：リモート/ZOOM会議
9	22	後藤 寺岡	*	*	山本	9/17 休会	*	*	鎌田「事例報告」	9/6寝屋川市介護住改研修会 部会：リモート/ZOOM会議
10	*	*	*	*	山本	10/15	山本	大塚	寺岡 「クイズ、クイズ???」	部会：リモート/ZOOM会議
11	2.10.17	大塚 春岡	11/17	後藤	山本	11/19	山本	曾我部	小川 「アンガーマネジメント」	
12	1.15.22	後藤	12/15	山本	山本	12/17	山本	春岡	清水 「令和 あるある言葉」	12/11住まい情報センタータイアップ 事業 部会：リモート/ZOOM会議
1	26	鎌田	*	*	山本	1/21	山本	山本	発表なし	部会：リモート/ZOOM会議
2	*	*	*	*	山本	2/18	山本	後藤	発表なし	部会：リモート/ZOOM会議
3	2	鎌田	*	*	山本	3/18	山本	清水	発表なし	
4	20	鎌田	*	*	山本	4/15	山本	未定	鎌田 「事例報告」	部会：リモート/ZOOM会議
5	11	山本	*	*	山本	5/20	山本	未定	山本 「H邸のその後」	部会：リモート/ZOOM会議
6	15	大塚	*	*	山本	6/17	山本	未定	大塚 「地名の由来/松原 編」	部会：リモート/ZOOM会議

りのべる部会		令和四年度収支報告（R4/7/1～R5/6/30）			
事業・部会 No.	事業名	収益	費用		差益
A-1	東大阪市重度障害者住宅改造費助成制度 適正検証事業	232,760	217,062		15,698
			諸謝金	180,000	
			旅費交通費	24,397	
			会議室	10,830	
			印刷製本費	15	
			通信運搬費	1,820	
A-2	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	110,000	72,560		37,440
			諸謝金	71,000	
			会議費	1,200	
			旅費交通費	360	
A-3-2	大阪市住まい情報センター ・タイアップ事業	0	18,120		△ 18,120
			諸謝金	12,000	
			旅費交通費	2,300	
			材料費	3,820	
A-4	住宅改善サポート事業	33,900	28,660		5,240
			諸謝金	25,000	
			旅費交通費	3,660	
	雑収入・支出	0	8,590		△ 8,590
			支払手数料	3,399	
			雑費	4,791	
			租税公課	400	
合 計		376,660	344,992		31,668
			諸謝金	288,000	
			旅費交通費	30,717	
			材料費	3,820	
			印刷製本費	15	
			通信運搬費	1,820	
			会議費	12,030	
			租税公課	400	
			支払手数料	3,399	
			雑費	4,791	

3. こむねっと部会

令和4年度収益費用報告 (R4/7/1～R5/6/30)

(中北会員)

◆総括

R4年度計画の概要	P	D	実績評価	C
(以下、期首に立てた事業計画) 福祉サービス第三者評価事業は、18年目に入り、近年は、がむしゃらに活動の拡大を図ってきましたが、今後は計画的に受注して、丁寧な評価活動に徹するほか、持続可能な体制の確立を目指します。一方、当面はコミュニティビジネスとしての第三者評価事業が、NPOふくてっくの財政上の牽引を担う必要もあり、業務の合理化をいっそう追求する必要に迫られています。 外部連携については、活動の現状を冷静に評価して、精力の分散を避け、効率的な展開を目指します。 その中で、ふくてっくの特性を活かして、空家空きビル活用の福祉拠点づくりに注力していきます。				
◆福祉サービス第三者評価事業については、年度当初に確定していた案件は、コロナ禍の影響に大きく翻弄され、スケジュールの見直しが多発しましたが、結果的にはほぼ予定通り完了しました。ただ、白鳩会（ゆずり葉こども園）はR5年度に繰り越すことになりました（経理上はR4年度計上）。R4年度事業計画で予定していた新規の追加受注への対応が困難な中、保育所3件に取組むことができました。結果として、期首に立てた収益予想を若干下回りました。一定の収支差額を達成したものの、計画の1/3程度になっています。 評価調査メンバーには正井さんが兵庫県の養成研修を修了して新たに加わるほか、数名が認証分野を拡張しています。吉村氏が資格を喪失しましたが、評価メンバーも20名を数え、他の評価機関に比しても大所帯となりました。 ただ、「い」調査者が不足しており、特に今後急速に増加が予想される保育所の受審への体制整備が急がれます。 評価機関連絡会や全国第三者評価調査者連絡会の活動もようやく対面でのミーティングが再開し、ふくてっくからの情報発信や多方面からの情報や新たな課題の収集が期待できます。 ◆一方、6月の部会で「空家空きビルの福祉利活用プロジェクト」を提言しています。従前から活動課題として温めてきましたが、いよいよ本格的にスタートします。 ◆外部連携については、コロナ禍の影響が長引き低迷しています。コロナ禍も落ち着き、今後の展望を志向する局面を迎えましたが、第三者評価事業の進展、その他を踏まえて無理のない範囲で活動対象を精査する必要があります。				

こむねっと部会

令和4年度事業報告 (R4/7/1～R5/6/30)

A：事業活動

(有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)

No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 成果
1-1	福祉サービス第三者評価	通年	大阪府地域福祉推進審議会および評価機関連絡会
	大阪府・評価機関		令和4年度も地域福祉審議会の開催はなく、第三者評価基準等部会も機能していません。評価調査者養成研修、継続研修への協力は継続しています。評価機関連絡会は、リモートですが予定通り年2回開催しています。
	大阪府庁ほか		
1-2	福祉サービス第三者評価	通年	第三者評価活動
	福祉事業所		令和4年度は、高齢5件、児童（保育所）5件、児童養護施設5件、乳児院1件の計16件を実施しました。
	大阪府・兵庫県・奈良県		R4年度は奈良県の施設の評価は受けておらず、また兵庫県での実績は機関認証以来1件もありません。
2	SCP、りすくのつくほか	通年	障害者居宅の防災支援活動その他、外部連携によるプロジェクト
	大阪府下		残念ながら活動の実績はありませんでした。
3	空家空きビル活用	通年	社会資源（空家・空きビル）活用による福祉事業所開設の支援
	大阪府下		組織としての活動体制を確立することはできず、6月部会で今後の展開を提言しました。
4	外部連携	通年	直ちに具体的なプロジェクトを企図するものではないが、諸団体等との連携を深め、ネットワークを構築する。
	ボラ協 NPOゆめ風基金 NPOちゅうぶ NPOばあとなあ (一社) 奈良市手をつなぐ親の会・奈良美鹿の会 大阪精神医療人権センター BCP研究会 NPO第三連		全般的に、コロナ禍の影響が厳しく、外部連携の活動は低迷を続けたというほかありません。中北が個人的に、NPOちゅうぶ、(一社) 奈良市手をつなぐ親の階・奈良美鹿の会、NPO第三連の監事を務めるほか、NPOばあとなあの運営委員として連携を保持しているが、そろそろ「床座施」すべき時期を迎えています。コロナ禍も落ち着いて、連携の再開を模索する中で、外部連携担当の分散を図る課題を認識しています。

こむねっと部会			令和4年度事業報告 (R4/7/1～R5/6/30)
B：部会活動			(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			成果
1	7月部会	7/16 (土)	議題1) 2021-2022年度 第三者評価が圧胴の収支見込と活動被配分調整 議題2) 秋以降の活動予定と参加メンバー 議題3) 指導者研修(中北・小川・清水R受講)の全体化 議題4) 8月部会後の納涼企画について その他 7/20評価機関連絡会の議事について
	12名		
	大阪市立社会福祉センター		
2	8月部会	8/20 (土)	議題1) 新メンバー紹介(正井さん) 議題2) 第三者評価の予定と担当メンバー確認 議題3) 全社協指導者研修の振り返り 議題4) 第三者評価 令和4・5年度方針
	大阪市立社会福祉センター		
3	9月部会	9/17 (土)	報告) 9-12月の評価予定確認 議題1) 東京の某評価機関からの協働提案について 議題2) 保育所の評価基準について 議題3) 10月の学習愛会の進行計画 議題4) 10～12月の部会企画について
	8名		
	大阪市立社会福祉センター		
4	10月部会	10/15 (土)	報告) 受注案件の進行状況。 議題1) 令和5年度受審費用の改訂について 議題2) 保育所における「自己評価」 議題3) 11・12月部会企画
	大阪市立社会福祉センター		
6	11月部会	休会	
7	12月部会	12/17 (土)	議題1) 阪南福祉事業会 児童養護3施設の比較検討 議題2) 保育所の評価について
	14名		
	大阪市立社会福祉センター		
8	1月部会	1/21 (土)	報告) 取組中の第三者評価スケジュール等確認 議題1) 第三者評価ワークショップ ①標準的実施方法の評価について ②評価活動の工夫(質の向上と効率化について) ③中・長期計画に求めるもの ④権利侵害の捉え方 ⑤ふくてっく第三者評価事業の中長期計画(別紙)
	9名		
	大阪市立社会福祉センター		
9	2月部会	2/18 (土)	報告) ①取組中の第三者評価スケジュール等確認 ②大阪市の保育所第三者評価推進事業の内容 議題1) 評価基準留意点の記述遵守について ①「C」評価とするケース ②「評価外」と「非該当」の区別と、適用する場合の理由の表記 議題2) 保育所評価の振り返り 議題3) 評価結果の取りまとめ
	12名		
	大阪市立社会福祉センター		
10	3月部会	3/18 (土)	報告) スケジュール確認 議題1) 保育所評価のふりかえり 議題2) 評価の姿勢、評価コメント作成上の留意点 議題3) 次年度にむけて
	11名		
	大阪市立社会福祉センター		
11	4月部会	4/15 (土)	報告) 2023年度評価スケジュールの確定状況 議題1) 前回確認した評価の標準的実施方法の再確認 議題2) 2023年度予定の評価への対応 議題3) 全社協養成研修内容の共有(小原氏) 議題4) 5月拡大部会の計画
	9名		
	大阪市立社会福祉センター		
11	5月部会	5/20 (土)	議題1) 保育所評価基準についての考え方 ①自己評価とPDCA ②計画策定における職員参画 ③標準的実施方法 ④アセスメント 議題2) 養成研修・継続研修のあり方 議題3) 評価機関の事業継続環境と課題
	17名と他機関から6名		
	大阪市立社会福祉センター		
11	6月部会	6/17 (土)	議題1) 検査済証のない建築物の福祉利活用
	13名と外部参加3名		
	大阪市立社会福祉センター		

こむねっと部会			令和4年度収益費用報告（R4/7/1～R5/6/30）		
事業・部会 No.	事業名		収益	費用	差益
B 1～12	こむねっと部会 共通経費	①会議費		31,400	△ 31,400
		②諸会費			
		③支払い手数料			
A1	第三者評価事業	事業収入	5,156,760		
		諸謝金		3,649,308	
		印刷製本費		689,000	
		旅費交通費		324,635	
		通信運搬費		6,190	
		消耗品費			
		諸会費		10,200	
		租税公課		2,900	
		研修費		56,500	
		雑費		248,753	
	（ 小 計 ）		5,156,760	4,987,486	
A2	地域資源の利活用による障がい者地域生活拠点構想	0	0	0	
A3	SCP事業	0	0	0	
A4	りすくのつく	0	0	0	
A5	外部連携	0	0	0	
合計			5,156,760	5,018,886	137,874

2.7%

こむねっと部会の期首収支計画では、第三者評価事業で約630万円の収益を見込んでいましたが、一部予定案件の中止やコロナ禍にともなう延期があり、約115万円の減少となりました。
 収支差額も計画の1/3程度、昨年実績の約半額に縮小しています。
 A2～5の活動は全く動かない1年でした。

令和4年7月1日から令和5年6月30日まで

活動計算書

(単位:円)

科目	決算金額			期首予算額	前年決算額
I 経常収益					
1. 受取会費					
正会員受取会費	155,000			155,000	155,000
通信会員受取会費	1,500			2,500	2,500
学生会員受取会費	1,000			1,000	1,000
例会参加受取会費	2,000			2,500	0
受取会費計		159,500		161,000	158,500
2. 受取寄附金					
受取寄附金	102,800			0	200,000
受取寄附金計		102,800		0	200,000
3. 受取助成金等					
事業復活支援金	0			0	2,500,000
受取寄附金計		0		0	2,500,000
4. 事業収益					
ふくてっくのつどい	40,000			90,000	20,000
りのべる部会	376,660			750,000	3,036,300
こむねっと部会	5,156,760			6,308,300	4,191,000
事業収益計		5,573,420		7,148,300	7,247,300
5. その他収益					
受取利息	69			70	87
雑収益	9			0	8
その他収益計		78		70	95
経常収益計			5,835,798	7,309,370	10,105,895
II 経常費用					
1. 事業費					
(人件費)					
給料、手当(事業)	19,000			80,000	3,000
人件費計		19,000		80,000	3,000
(その他経費)					
材料費	10,574			10,000	
業務委託費	0			0	0
諸謝金	3,937,308			5,300,000	7,431,678
印刷製本費(事業)	689,015			500,000	342,005
会議費(事業)	43,430			60,000	16,760
旅費交通費(事業)	374,352			450,000	390,105
車両費	0			4,000	69,500
通信運搬費(事業)	8,010			5,000	5,559
諸会費	10,200			5,000	5,559
消耗品費(事業)	0			20,000	32,350
租税公課(事業)	3,300			1,000	6,600
研修費	56,500			120,000	98,500
支払手数料(事業)	13,839			20,000	19,305
雑費	253,544			250,000	517,720
その他経費計		5,400,072		6,745,000	8,935,641
事業費計			5,419,072	6,825,000	8,938,641

科目	決算金額			期首予算額	前年決算額
2. 管理費					
(人件費)					
給与 手当	150,000			170,000	147,000
通勤費	33,260			35,000	34,980
人件費計		183,260		205,000	181,980
(その他経費)					
諸謝金	41,137			80,000	11,137
印刷製本費	200			1,000	250
会議費	72,400			80,000	54,480
旅費交通費	40,000			30,000	0
通信運搬費	59,986			65,000	71,218
消耗品費	330			5,000	15,460
地代家賃	419,892			419,820	419,892
諸会費	0			33,000	0
新聞図書費	0			0	1,200
保険料	62,160			0	36,000
租税公課	8			70,000	70,012
支払手数料	50,748			32,000	30,770
雑費	217			46,000	6,538
その他経費計		747,078		861,820	716,957
管理費計			930,338	1,066,820	898,937
経常費用計			6,349,410	7,891,820	9,837,578
当期経常増減額			△ 513,612	△ 582,450	268,317
Ⅲ 経常外収益					
経常外収益計		0		0	0
Ⅳ 経常外費用					
経常外費用計		0		0	0
税引き前当期正味財産増減額			△ 513,612	△ 582,450	268,317
法人税、住民税及び事業税			70,000		
当期正味財産増減額			△ 583,612		
前期繰越正味財産額			7,845,048	7,845,048	7,302,061
次期繰越正味財産額			7,261,436	7,262,598	7,570,378

令和4年度も、コロナ禍に伴う事業停滞や延期などがあり、収益は昨年度実績や期首計画に比して大きく減少しました。ただ、昨年度の収益は多額の支援金を含んでいましたので、実質的な事業収益としては額面ほど大きな減少ではありません。事業規模が対計画比で縮小することに伴い、費用も減少していますので、期首予算計画にほとんど一致する赤字決算となりました。昨年度のような事業復活支援金は今後見込めませんので、事業活動その他に抜本的な改革がなされない限り、赤字体質が継続するものと思われます。それでも、なお多額の正味財産残高を保有していますので、当面の事業継承懸念はありませんが、新たな事業展開に向けた体力の維持や次世代への継承を考えるなら、課題として念頭に置く必要が迫っています。

小堀会員より、どうして700万円にも及ぶ正味財産を築くことができたのか、という質疑があった。これについては、鄭和3年度の100万、令和4年度の250万という事業継続給付金とその約半分を構成しており、その他は主に東大阪部会活動による長年の留保金の蓄積であることが説明された。

貸借対照表

令和4年6月30日現在

(単位：円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
預金現金	7,131,022		
未収金	0		
流動資産合計		7,131,022	
2. 固定資産			
什器備品	2		
保証金	137,412		
固定資産合計		137,414	
資産の部合計			7,268,436
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	0		
預り金	7,000		
流動負債合計		7,000	
負債の部合計			7,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		7,845,048	
当期正味財産増減額		△ 583,612	
正味財産の部合計			7,261,436
負債・正味財産の部合計			7,268,436

財産目録

令和3年6月30日現在

(単位：円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
小口現金	105,201		
普通預金			
三菱UFJ銀行梅田支店	5,948,715		
ゆうちょ銀行	924,826		
郵便振替口座	152,280		
流動資産合計		7,131,022	
2. 固定資産			
什器備品	2		
保証金	137,412		
固定資産合計		137,414	
資産の部合計			7,268,436
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	0		
預り金	7,000		
流動負債合計		7,000	
負債の部合計			7,000
正味財産			7,261,436

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NP0法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正NP0法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税の会計処理

消費税は税込経理により処理しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。

	ふくてっくの つどい	りのべる 部会	こむねっと 部会	事業費計	管理費	合 計
I 経常収益						
1. 受取会費				0	159,500	159,500
2. 受取寄付金				0	102,800	102,800
3. 受取助成金等				0		0
4. 事業収益	40,000	376,660	5,156,760	5,573,420		5,573,420
5. その他収益				0	78	78
経常収益計	40,000	376,660	5,156,760	5,573,420	262,378	5,835,798
II 経常費用						
1. 人件費						
給与・手当	19,000			19,000	150,000	169,000
通勤費				0	33,260	33,260
（人件費計）	19,000	0	0	19,000	183,260	202,260
2. その他費用						
材料費	6,754	3,820		10,574		10,574
業務委託費						0
諸謝金		288,000	3,649,308	3,937,308	41,137	3,978,445
印刷製本費		15	689,000	689,015	200	689,215
会議費		12,030	31,400	43,430	72,400	115,830
旅費交通費	19,000	30,717	324,635	374,352	40,000	414,352
車両費						0
通信運搬費		1,820	6,190	8,010	59,986	67,996
諸会費			10,200	10,200		10,200
消耗品費					330	330
地代家賃					419,892	419,892
新聞図書費					0	0
保険料					62,160	62,160
租税公課		400	2,900	3,300	8	3,308
研修費			56,500	56,500		56,500
支払手数料		3,399	10,440	13,839	50,748	64,587
雑費		4,791	248,753	253,544	217	253,761
（その他経費計）	25,754	344,992	5,029,326	5,400,072	747,078	6,147,150
経常費用計	44,754	344,992	5,029,326	5,419,072	930,338	6,349,410
当期経常増減額	△ 4,754	31,668	127,434	154,348	△ 667,960	△ 513,612

3. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	427,590	0	0	427,588	2
合計	427,590	0	0	427,588	2

パソコン1台 プロジェクター1台

議長は、1・2号議案について意見を求めたところ、一同異議なくこれらを承認した。

監 査 報 告 書

令和5年8月5日

特定非営利活動法人 ふくてつく

理事長 小川 忠雄 様

監 事 秋岡 安



監 事 稲住 泰広



特定非営利活動法人ふくてつく 定款第34条に基づき、令和4年度における監事
監査を令和5年8月1日に実施したところ、次の通りであったので報告します。

- | | |
|------------|--------|
| ・法人の財産管理状況 | 特に問題なし |
| ・法人の会計状況 | 特に問題なし |
| ・その他の状況 | 特に問題なし |

4号議案 令和五年度活動計画

1. ふくてっくのつどい

(小川会員)

ものづくり活動			
令和5年度事業計画 (R5/7/1～R6/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
1	幼稚園木工体験	11/1	ものづくり体験活動。
	羽曳野市立高鷺南幼稚園		毎年、工具体験している園児たちの興味を引き出す作品づくりへの新たな取組に挑戦。
	上記幼稚園(羽曳野市)		
2	幼稚園木工体験	11/8	親子交流・ものづくり体験活動。
	生駒市立桜ヶ丘幼稚園		人生初体験！工具を使って切ったり打ったり貴重なワクワク、ドキドキ体験活動。
	上記幼稚園(生駒市)		
3	幼稚園木工体験	11/17	親子交流・ものづくり体験活動。
	生駒市立壺分幼稚園		人生初体験！工具を使って切ったり打ったり貴重なワクワク、ドキドキ体験活動。
	上記幼稚園(生駒市)		
4	池島ふれあいまつり	11/23	地域のまつり活性化貢献活動。
	社会福祉法人海の子の家		地域交流として活動を継続しており、毎年木工機会を期待している市民との交流活動。
	池島公園		
5	てんかん啓発パ－プルDAY	3月予定	感染対策をして実施予定(「てんかん」の周知活動)。
	読売		「てんかん」という病気を知ってもらい、無知による差別を無くす為の啓発活動への貢献活動。
	長居植物園&てんしば		
6	共生・共走リレマソン	5月予定	障がい者・児とのふれあい活動。
	マツカ		障がい児・者がスポーツを通じて交流する場に参加し、自由木工を通じての交流活動。そして「つどい」年度最後の活動の締めくくりとしての活動。
	花博鶴見緑地公園		

B：部会活動

(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

たいけん・ものしり活動			
令和5年度事業計画 (R5/7/1～R6/6/30)			
No.	事業名 参加者・人数 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
1	材料調達	3回／年	木工活動の材料調達
			丸太輪切りや枝の収集など自然の恩恵を授かる。
	岡会員別荘		
2	バーベキュー&交流会	10月予定	会員間交流
	15名参加予定		ふくてっく会員の慰労企画。
	屋外公園		
3	カニご賞味会&交流会	3月予定	会員間交流
	10名参加予定		ふくてっく会員の慰労企画。
	岡会員邸		

ものづくり活動				
令和5年度収益予算計画 (R5/7/1～R6/6/30)				
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益
A-1	幼稚園木工体験	20,000	25,000	△ 5,000
A-2	幼稚園木工体験	20,000	20,000	0
A-3	幼稚園木工体験	20,000	20,000	0
A-4	池島ふれあいまつり	20,000	25,000	△ 5,000
A-5	てんかん啓発パ－プルDAY	20,000	20,000	0
A-6	共生・共走リレマソン	5,000	15,000	△ 10,000
合 計		105,000	125,000	△ 20,000

中北会員より、コロナの五類以降後のイベント復活見通しについて、3年もブランクがあると、どの法人も当時の地域交流を知るスタッフが異動や退職、あるいは幹部職員への昇格等もあり、イベントを盛り上げる原動力となる若い職員が、その文化に馴染んでいないという現実がある。容易には戻らないことが懸念される、と発言。

2. りのべる部会 活動計画

令和5年度事業計画 (R5/7/1～R6/6/30)

(清水会員)

- ・令和4年4月1日より部会名の名称を「りのべる」renovation + palに改めました。新部会名が意味するように、過去の活動に捉われず、蓄積したスキルを活用した新たな取組を進めていきます。当会のメンバーに関わらず、住環境を良くしたいと考える当事者や支援者と一緒に、支援する側、支援される側のスタンスではなく、お互い主体的に関わっていきけるような活動を推進していきます。
- ・東大阪市重度身体障害者住宅改修費助成制度適正検証事業の委託事業は2006年からスタートしました。2017年に対象者から高齢者が除かれましたが、当会としては、利用者ファーストの考えを基に改修費助成の適正化検証に関わり今年度も継続して事業を展開していきますが、私たちのような第三者機関が検証する必要のない行政システムと地域福祉力が連携して支える社会の実現を目指します。
- ・9/4寝屋川市の介護保険住宅改修研修会の講師を担当します。
- ・大阪市住まいの情報センターの出前講座は対面講座・オンラインでの講座も開催する事にしました。
- ・タイアップ事業として、R6年3月頃にワークショップ「かるた遊びから学ぶ、家庭でできる防災防犯教育」を予定しています。
- ・令和4年4月より「住宅改善サポート」をスタートしました。暮らしているお住まいに不自由・不便が生じている高齢者や障がいのある方を対象に、住まいに関するアドバイス等の活動を実施していきます。
- ・だれにでも解る介護保険住宅改修の「ワンポイントアドバイス」を当会HPに掲載予定です。
- ・活動を周知していくために、チラシ（つどいと合同）を作成し、各ボランティア市民活動センターや地域包括支援センターに配布する予定です。
- ・活動メンバーは、本業及び他の部会活動兼任のため、新たに継続した活動を展開・拡大していくには時間的に難しく、本年度は従来の事業とワンポイントアドバイスの充実に力を注いでまいります。

りのべる部会			
令和5年度事業計画 (R5/7/1～R6/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等 期待する成果
1	東大阪市重度身体障害者住宅改修費助成制度適正検証事業	令和5年7月1日～令和6年6月30日	目的：障がい者の住環境のバリアフリー化を促進する。
	東大阪市		障がい者の住環境が改善され、継続して在宅生活を送る事ができる。
	東大阪市内		R5/4～R6/3契約：検証15案件、事前相談会6回、書類審査9回
2	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	令和5年9月4日	目的：健全な制度利用と、施工事業者・介護支援専門員の資質向上への支援。
	寝屋川市		施工事業者・介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、質の良い住環境のバリアフリー化を促進する。
	寝屋川市立保健福祉センター		■給付券方式施工登録事業所研修会及び介護支援専門員介護住改研修会①10:30～12:00 ②13:30～15:00 講師：山本・清水
3-1	大阪市住まいの情報センター/出前講座	令和5年7月1日～	目的：高齢者やその家族が自立した生活を継続するために必要な住環境改善について知識を有し、主体的に取り組む事を目指す テーマ：「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」
	市民	令和6年6月30日	高齢者の身近なテーマから、住環境改善の知識を有し主体的に住環境整備に関わり、安心・安全な暮らしを継続する。
	大阪市内		
3-2	大阪市住まいの情報センター/タイアップ事業	令和6年3月	ワークショップ：かるた遊びから学ぶ、家庭でできる防災防犯教育 日時：3月下旬 A：11:00～11:50 B：14:00～14:50 場所：3階ホール 担当者：清水・寺岡・春岡 定員：A：会場15組（就学前の子ども・保護者又は大人同伴） B：会場15組（小学校低学年・保護者又は大人同伴） 遊びながら学ぶ。親に向けて：親がそばに居ないときに何か危険な状況に置かれても、自分で自分の身を守る方法をきちんと教育できる。 子どもに向けて：適正な行動がとれるようになる、危険な状況を未然に防げるようになる。
	子どもと保護者		毎日の生活を整えておくことが防災、防犯につながる。自分で自分の命を守る知識を持ち、行動がとれる人を育てる。「生活防災」を知り、普段の生活にまさかの時の工夫を取り入れる。
	大阪市内		
4	住宅改善サポート	令和5年7月1日～	目的：高齢者や障がいのある人がその人らしく暮らせる住環境を整備する 内容：訪問相談、同行、アドバイス等
	高齢者・障がいのある人	令和6年6月30日	個別性に合わせた要望に対応し、その人らしく暮らせる住環境を提案する。
	大阪府下		
5	ワンポイントアドバイス	令和5年7月1日～	目的：高齢者等が安心して安全に暮らせる住環境を整備する 内容：ホームページと通じて、介護保険住宅改修対象工事等について、アドバイスをおこなう。
	市民・介護関係者	令和6年6月30日	介護支援専門員や住宅改修に関わる関係者・ご家族などに気づきを促し、住宅改修が適切に実施され、高齢者等が在宅で安心して暮らしを継続する。
	大阪府下		

りのべる部会			令和5年度事業計画（R5/7/1～R6/6/30）
B：部会活動			（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）
No.	事業名 参加者・人数	日付 期間	事業目的・内容等
	場所		期待する成果
I	定例会（月1回開催）	R5年7月 ～ R6年6月	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討
	検証メンバー 大阪市立社会福祉センター・ リモート/ZOOM会議	第3土曜 12回	チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する

令和五年度検証活動 作業担当計画

月	検証活動日	検証記録	改造助成事前相談会		活動予定	部会			ふくてつく定例会	その他活動予定および備考
	アンダーラインは水曜日	集積送信/検証担当者	第3木曜	担当	作成連絡	第3土曜	議事進行	記録	発表担当	
7	6.13.20.27	清水	7/21	清水	山本	7/15	山本	清水	清水	
8	3.10.17.24.31	小川	8/17	小川	山本	8/19	山本	小川	発表なし	部会：リモート/ZOOM会議
9	7.14.21.28	寺岡	9/21	寺岡	山本	9/16	山本	寺岡	寺岡	9/4寝屋川市介護住改研修会 部会：リモート/ZOOM会議
10	5.12.19.26	大塚	10/19	大塚	山本	10/21	山本	大塚	小川	部会：リモート/ZOOM会議
11	2.9.16.22.30	曾我部	11/16	曾我部	山本	11/18	山本	曾我部	曾我部	
12	7.14.21	後藤	12/21	後藤	山本	12/16	山本	後藤	後藤	部会：リモート/ZOOM会議
1	4.11.18.25	春岡	1/18	春岡	山本	1/20	山本	春岡	発表なし	部会：リモート/ZOOM会議
2	1.8.15.22.29	清水	2/15	清水	山本	2/17	山本	清水	春岡	部会：リモート/ZOOM会議
3	7.14.21.28	山本	3/21	山本	山本	3/17	山本	山本	鎌田	
4	4.11.18.25	未定	未定	未定	山本	4/20	山本	未定	未定	部会：リモート/ZOOM会議
5	2.9.16.23.30	未定	未定	未定	山本	5/18	山本	未定	未定	部会：リモート/ZOOM会議
6	6.13.20.27	未定	未定	未定	山本	6/15	山本	未定	未定	部会：リモート/ZOOM会議

東大阪市では、かねて懸案だった住宅改造費、助成の対象を重度身体障がいから知的や精神に拡大する事業を今年10月からスタートさせることになった。ただ、これまでにないことで、知的・精神障がい者にとって、どのような住環境改善が助成対象となるかは未だ確定していない。申請を受けて、その都度協議していくことになる。

りのべる部会					令和5年度収支計画（R5/7/1～R6/6/30）				
事業・部会 No.	事業名	収益	費用		差益				
A-1	東大阪市重度障害者住宅改造費助成制度 適正検証事業	250,000	200,000		50,000				
			諸謝金	149,000					
			旅費交通費	36,800					
			消耗品費	3,000					
			会議費	11,000					
			租税公課	200					
A-2	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	110,000	90,000		20,000				
			諸謝金	87,500					
			旅費交通費	2,500					
A-3	大阪市住まい情報センター ・出前講座 ・タイアップ事業	0	70,000		△ 70,000				
			諸謝金	50,000					
			旅費交通費	10,000					
A-4	住宅改善サポート	100,000	80,000		20,000				
			諸謝金	60,000					
			旅費交通費	10,000					
			消耗品費	5,000					
			印刷製本費	5,000					
A-5	ワンポイントアドバイス	0	20,000		△ 20,000				
			諸謝金	15,000					
			消耗品費	5,000					
合 計		460,000	460,000		0				
			諸謝金	361,500					
			旅費交通費	59,300					
			消耗品費	23,000					
			会議費	11,000					
			租税公課	200					
			印刷製本費	5,000					

3. こむねっと部会

令和5年度事業計画 (R5/7/1～R6/6/30)

A. 中・長期計画

1. 基本的な考え方と視点

活動の理念は恒久的なものだが、ミッションは社会状況の変化と共に展化し続けるものである。理念の達成を追い続けるのであれば、たえずミッション性を見直し続ける必要がある。設定したミッションが達成されたら、あるいはメンバーの活動が限界を迎えれば活動を終えればよいという、自らBCPを否定する考えは排したい。

また、次世代の新たな活動の創立を彼ら任せにするのではなく、その発展と文化の継承に一定の責任を持ちたい。

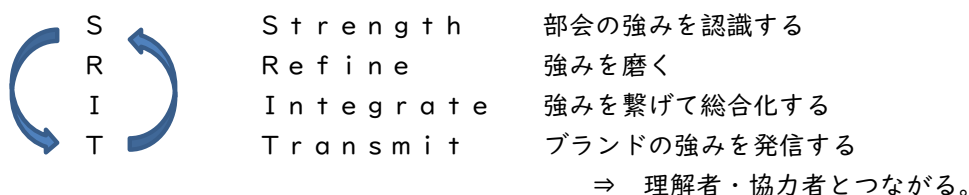
こむねっと部会の将来像を描いて、その実現に向けて積極的かつ重点的に取り組むべき課題を明確に示して、具体的な取組を遂行する。

そのために、社会的ミッション性が低下した活動や有目的性を欠く協働・連携関係の清算を進める。中長期的な視点に立って、部会の事業が達成すべき目標に照らして「成果」の達成度や進捗状況をたえず確認しながら取組を進めていきます。

2. 基本方針 ～PDCAよりSRITで～

PDCAの眼目である「C：評価」と「A：改善」は、どちらかというところ、「課題＝弱点」に着眼して、その改善を計画的・実効的に進めようとする概念である。

それはそれで大切な姿勢だが、あわせて「強み」に着眼していきたい。



3. 基本的な取組のマインドと方向性

大切にしたいスピリット

1. 好奇心 Curiosity
2. 持続性 Sustainable
3. 柔軟性 Flexibility
4. 楽観性 Optimism
5. 冒険心 Adventurous

■ 組織の再構築と次世代リーダーへの継承

10年先を見越した組織構成と事業規模の見直し。

コミュニティ・ビジネスと称するにふさわしい活動費配分の実現

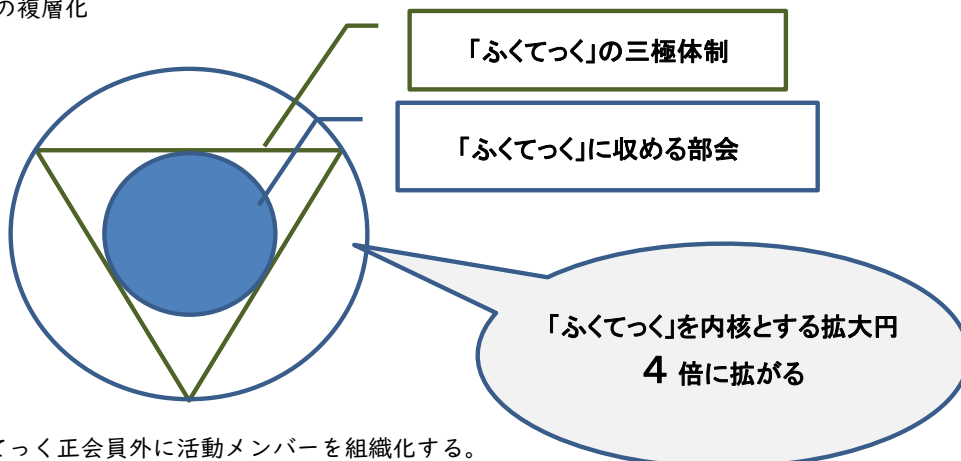
法人（ふくてっく）の健全運営にかかる固定費用を相応に負担する収支差額の確保

事業手法の標準化（生きた標準の実施方法の明文化）

現リーダー「床座施」の計画をタイムテーブルに乗せ、着実に事業継承を図っていく。

**弱みを正すばかりではなく
強みを伸ばしていく**

■ 活動組織の複層化



B：令和5年度事業活動			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
1-1	第三者評価 ①	R5年 7月～ R5年 6月	大阪府地域福祉推進審議会 福祉サービス第三者評価分科会・同基準等部会 評価機関連絡会 全国第三者評価調査者連絡会（第三連）
	大阪府推進審議会 大阪府福祉事業財団 評価機関連絡会 第三連		大阪府地域福祉審議会及び評価基準等部会は、名目上の参加が続くものと思われます。 評価機関連絡会は漸く対面会議が復活します。保育所の受審機会が急伸することに対応するための課題が山積しており、共同で研修会を企画するほか、評価調査者養成・継続研修のあり方にも連携して発言力を増していこうとしています。 第三連（第三者評価調査者連絡会）では、監事としての活動を通じて、全国の評価機関・評価調査者との連携を深めていきます。
	大阪府および全国		
1-2	第三者評価 ②	R5年 7月～ R5年 6月	ふくてっく第三者評価事業の拡大発展
	評価機関体制整備と 評価の取り組み		今年度は、一時期に評価活動が集中することを避け、昨年に引き続き、盆・正月・ゴールデンウィークを除いて2週間の枠に1件ずつの訪問調査日程を割り当てることができるよう、受注制限する計画です。保育所の受審機会が急伸して、すでに来年の夏前後までは予定が詰まっています。 今年度の改善課題は、①評価機関としての体制の振り返りと改善、②評価技術の向上と効率化、③受審基準額の底上げ、④評価調査メンバーの拡充を掲げます。 ④については、ふくてっく会員外の評価調査者を登録し、チーム構成の幅を広げます。 全国評価調査者連絡会（第三連）との連携を強化して、第三者評価事業推進のための有意義な情報や刺激を収集します。 機関認証を受けながら実績をあげることでできていない兵庫県での活動をスタートさせます。 まだ、取り組んでいない分野として①救護施設、②放課後児童健全育成事業などの取組を具体化します。 評価を終えた後のフォローアップを事業化します。
	大阪・奈良・兵庫 および周辺府県		
2	外部連携	R5年 7月～ R10年 6月	外部連携については、コロナ禍以前からの多方面に亘るつながりは、コロナ禍の収束とともに従前のように復興できるか・すべきかを冷静に判断して、個別に対応していきたい。また、そもそも外部連携は、こむねっと部会扱いとすること自体を見直します。中北は事務局長として窓口の一翼は努めるものの、ふくてっく会員全体の課題と位置付けたい。
	外部連携による協働事業		
	空家/空きビル等の 社会資源を福祉利用する 支援		
2	大阪を中心とする近畿圏	R5年 7月～ R10年 6月	標記の事業構想を着実に実現していくために5か年計画を策定し、初年度に当たるR5年度では、運営規約の策定とメンバー構成を確立します。メンバー構成については、現ふくてっく会員を核としつつ、外部にも積極的に情宣して行きたいと考えています。 活動が一定、軌道に乗った時点で独立部会とします。
	終了する活動		昨年度まで活動項目に挙げていた「SCP」および「りすくのっく」は終了とします。

◆福祉サービス第三者評価事業は、平成17年6月に大阪府から評価機関認証を受けてスタート。既に18年を経過し、19年目に入っています。この数年で事業規模も大幅に拡大しました。今後は昨年度に引き続き計画的な受注を徹底して、無理なく丁寧な評価活動に努めるほか、持続可能な体制の確立を目指します。組織は体制を確立してルールを安定した時から衰退が始まります。若い世代の新規参加を図りつつ、常に組織と運営規約の更新を続けていくことが避けられません。

その意味でも、第三連など全国的な連携に参画することで、刺激と知見を導入していくことが大切です。保育部門の評価調査者は、会員内外に複数名の増加が見込めます。

◆令和4年度に評価調査者養成研修を修了した達谷氏、今年度終了予定の山本氏、林氏を非会員調査メンバーとして登録します。

◆以前から温めていた空家空きビル利活用プロジェクトを新たな事業展望として、新しいふくてっくを創るという気持ちで進めて行こうとしています。もちろん、これを期に会員増強に繋がることも良しとしますが、会員であることを活動要件とする考えは棄却します。目的を同じくする活動家や組織との緩やかなネットワークを形成していきたいと思います。

◆外部連携については、ふくてっく前代表の積極的な（独特な）アウトリーチで多くの関係性が築かれていましたが、長引くコロナ禍の中で、いずれも停滞していました。ようやく、コロナ禍も落ち着きを見せつつあり、再開を期すべきではありますが、当会メンバーも高齢化が顕著になっており、コロナ禍以前の取組を復活することには無理もあります。ふくてっくでは、事実上すでにいくつかの連携を停止していますが、今後とも対象を厳選して、有目的な（きちんと目的をもった）ネットワーク構築を目指したいと考えています。なお、外部連携は、会の誰かがやればよいのではなく、やる以上は会全体の取組として、少なくとも数名のチームで推進すべきですので、こむねっと部会扱いを返上します。中北は、事務局長として窓口の一翼を担いますが、今後は都度理事会に諮って代表、副代表とともに、三部会協働で取組みたいと思います。

C：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名 参加者・人数 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
1	7月部会	7/15	福祉サービス第三者評価事業
	大阪市立社会福祉センター		報告) ①保育所における自己評価・第三者評価の活用状況(第三連調査研究報告) ②令和3年度の第三者評価事業収支報告等
	大阪市立社会福祉センター		議題1) 児童養護施設・母子生活支援施設の評価基準改定内容の確認 議題2) 成光苑3施設の評価に臨んで(事前資料に見る保育所としての共通点・相違点ほか) 議題3) 評価メンバー未充足案件の参加メンバー調整 議題4) 令和5年度受審費用設定と配分規定について
2	8月部会	8/19	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者		議題1) 保育所評価について ①第三連による連続研修企画の共有 ②取組中および今後予定の保育所4法人12園の特徴
	大阪市立社会福祉センター		企画) 暑気払い(自由参加) 話題:メンバーの高齢化と健康管理
3	9月例会	9/16	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者		児童養護施設・母子生活支援施設の評価を控えて、施設特性と今日的課題の確認
	大阪市立社会福祉センター		こねねと部会、コミュニティビジネス中長期計画の検討
4	10月部会	10/21	ものづくり・まちづくりの哲学
	拡大部会		外部講師を招聘して学習会
	自立生活夢宇宙センター 「ごりらー」		テーマ(仮):バリアフリー法とユニバーサルデザイン
6	11月部会	11/18	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者		今期前半の保育所(5園)評価を終えて
	大阪市立社会福祉センター		その振り返りと、今後の課題
7	12月部会	12/16	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者		議題1) 上半期をふりかえって
	大阪市立社会福祉センター		議題2) R6年度受審料改訂その他外部発信情報の見直し 議題3) (社福)みやび7園の評価に臨んで 保育所特性を外観する
8	1月部会	1/20	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者		新規参加評価調査者(会員外メンバーを含めて)を交えて、ふくてっく第三者評価の仕組みを共有
	大阪市立社会福祉センター		
9	2月部会	2/17	福祉サービス第三者評価事業
			未定
	未定		
10	3月部会	3/16	空家空きビルの利活用プロジェクト
	拡大部会		議題1) 令和5年度の取組総括と今後の展望
	未定		議題2) 児童相談所の第三者評価について
11	4月部会	4/20	福祉サービス第三者評価事業
			未定
	未定		
12	5月部会(拡大部会)	5/18	未定
			未定:テーマと講師を設定して実施する
	未定		
13	6月部会	6/15	福祉サービス第三者評価事業
			未定
	未定		

今年度も、毎月の部会を有意義に実施するため、毎回予めテーマを定めて準備を確実に整える。
参加しやすいように開始時刻を13:30に改める。
テーマによっては外部講師を招いたり、外部からの参加を促す。
拡大チームメンバーとの協同研修も計画する。

D:こむねっと部会 事業収支計画			令和5年度 (R5/7/1～R6/6/30)			
事業・部会 No.	事業名		収益	費用		差益
A1	第三者評価 審議会・連絡会・第三蓮		0		60,000	△ 60,000
	福祉サービス 第三者評価 事業実務	フライングボニー	330,000	活動費配分 (90%)	297,000	33,000
		成光苑 (3施設)	1,122,000	活動費配分 (80%)	897,600	224,400
		奈良県一時保護所	438,900	活動費配分 (90%)	395,010	43,890
		藤こども園	594,000	活動費配分 (80%)	475,200	118,800
		愛和学園	594,000	活動費配分 (80%)	475,200	118,800
		南さくら園	330,000	活動費配分 (90%)	297,000	33,000
		リアン東さくら	330,000	活動費配分 (90%)	297,000	33,000
		助松寮	363,000	活動費配分 (90%)	326,700	36,300
		博愛社／博愛社いずみ	770,000	活動費配分 (90%)	693,000	77,000
		和泉幼稚園	330,000	活動費配分 (90%)	297,000	33,000
		天王谷学園	352,000	活動費配分 (90%)	316,800	35,200
		(社福) みやび2園 ※5園は次年度繰り越し	770,000	活動費配分 (80%)	616,000	154,000
		今年度枠追加見込み (1件)	440,000	活動費配分 (80%)	352,000	88,000
		活動費配分調整支出			120,000	△ 120,000
		以上計	6,763,900		5,855,510	908,390
		研修費			80,000	△ 80,000
A2	第三者評価以外の活動 新規事業立ち上げ経費		0	活動費・諸経費	150,000	△ 150,000
共通	情報発信・資料印刷経費		0		150,000	△ 150,000
共通	会議費		0		80,000	△ 80,000
合計			6,763,900		6,375,510	388,390

5.7%

R5年度の第三者評価の契約は既に受注限度に対してほぼいっぱい状況です。
見積もり基準も上方改訂していますので、収益および収支差額については相応に向上します。
これをもとに、評価機関としての機能強化（評価の質の向上と評価分野の拡大）と新規事業の開拓を進めます。
その上で、ふくてっくの事業外収支で発生する運営損失の約半分を補填していきたいと考えています。
引き続き、R6年度の実績も活発化することが確実になっていますので、R5年度上半期のうちにスケジュール調整を終えておきたいと考え、いくつかの法人と調整を進めています。

5号議案 令和五年度活動予算計画

(中北事務局長)

活動計算書

単位：円

科目	金額			前年決算額
I 経常収支				
1. 受取会費				
正会員受取会費	170,000			155,000
通信会員受取会費	1,500			1,500
学生会員受取会費	0			1,000
例会参加受取会費	5,000			2,000
受取会費計		176,500		159,500
2. 受取寄付金		0		102,800
3. 受取助成金等		0		0
4. 事業収益				
ふくてっくのつどい	105,000			40,000
りのべる	460,000			376,660
こむねっと部会	6,763,900			5,156,760
事業収益計		7,328,900		5,573,420
5. その他収益				
受取利息	65			69
雑収益	0			9
その他収益計		65		78
経常収益計			7,505,465	5,732,998
II 経常費用				
1. 事業費				
(人件費)				
給料、手当(事業)	95,000			19,000
人件費計		95,000		19,000
(その他経費)				
材料費	13,820			10,574
業務委託費	0			0
諸謝金	5,388,000			3,937,308
印刷製本費(事業)	750,015			689,015
会議費(事業)	43,430			43,430
旅費交通費(事業)	350,717			374,352
車両費	0			0
通信運搬費(事業)	8,820			8,010
諸会費	10,200			10,200
消耗品費(事業)	0			0
租税公課(事業)	3,400			3,300
研修費	80,000			56,500
支払手数料(事業)	13,799			13,839
雑費	88,301			253,544
その他経費計		6,750,502		5,400,072
事業費計			6,845,502	5,419,072

2. 管理費				
(人件費)				
給与 手当	150,000			150,000
通勤費	33,260			33,260
人件費計		183,260		183,260
(その他経費)				
諸謝金	41,137			41,137
印刷製本費	200			200
会議費	72,400			72,400
旅費交通費	40,000			40,000
通信運搬費	59,986			59,986
消耗品費	330			330
地代家賃	419,892			419,892
諸会費	0			0
新聞図書費	0			0
保険料	62,160			62,160
租税公課	8			8
支払手数料	50,748			50,748
雑費	217			217
その他経費計		747,078		747,078
管理費計			930,338	930,338
経常費用計			7,775,840	6,349,410
当期経常増減額			△ 270,375	△ 513,612
Ⅲ 経常外収益				
経常外収益計			0	0
Ⅳ 経常外費用				
経常外費用計			0	0
税引前当期正味財産増減額			△ 270,375	△ 513,612
法人税、住民税および事業税			70,000	70,000
当期正味財産増減額			△ 340,375	△ 583,612
前期繰越正味財産額			7,261,436	7,845,048
次期繰越正味財産額			6,921,061	7,261,436

3部会の事業計画および収支予算書を統合し、管理部門経費については、過年度の傾向を踏襲してまとめています。

前年度に引き続き、大きな欠損金予想の収支予算計画となりました。（中北事務局長）

議長は、以上の報告を受けて、赤字の収支予測は現在の運営体制や事業形態により当然の帰結といえるもので、事態は深刻であると述べた。また、経営責任を持つ理事会として座視することはできないが、容易に打開できる問題でもないの、次期の定例理事会をめぐり具体的な対策を講じて報告すると約し、理解を求めた。

6号議案 役員改選について

議長は、本年が役員改選期にあたるので

現在の理事：池端一義 岡 道信 小川忠雄 荏田保志 清水麗子
杉浦史郎 曾我部千鶴美 上田牧人 大塚裕司

現在の監事：秋岡 安 稲住泰広

以上について、理事会として上記役員全員の留任を提案した。

審議の結果、一同異議なくこれを承認

議長は、以上をもって予定した議事についての報告・審議を終了したこと、および
参加会員からの議事提案がないことを確認したうえで、15時12分 閉会を宣言した。

議長

議事録署名人

議長

署名人

署名人